

『大学入学共通テスト 英語〔リーディング〕 集中講義〔新装版〕』

令和7年度（2025年度）共通テスト本試験問題と本書の大問対応表

*令和7年度より、新課程問題〈論理の探求〉が加わりました。

令和7年度 大学入学共通テスト 英語〔リーディング〕問題構成		本書の問題構成			
大問番号	問題内容	例題		チャレンジテスト	
		大問番号		大問番号	
第1問	情報読み取り (パンフレット)	⇒	第1問	A	
第2問	情報読み取り (ブログ)	⇒	第3問	A	第3問 A
第3問	情報読み取り (物語文)	⇒	第3問	B	第3問 B
第4問	情報読み取り (レポート)	⇒	試作問題 第B問(web)		第4問(web)
第5問	情報読み取り (Eメール)	⇒	第4問		第4問
第6問	情報読み取り (物語文)	⇒	第5問		第5問
第7問	情報読み取り (記事)	⇒	第6問	B	第6問 B
第8問	長文読解 (論説文)	⇒	試作問題 第A問(web)		第8問(web)

変更の概要と受験アドバイス

三浦淳一

2025年度の共通テスト第4問は、2022年に公表された「試作問題B」の形式、つまり、エッセイのドラフト〔下書き〕を読んで、指導者からのコメントをもとに推敲するという出題形式に変化した。また、第8問は「試作問題A」の形式に変更され、意見や資料を参考にしてエッセイを作成するという出題形式になった。具体的には、様々な意見を読んで理解・整理した上で（STEP1）、自分の立場を決め（STEP2）、エッセイのアウトラインを作る（STEP3）というプロセスである。

いずれも、実際にエッセイを作成するプロセスを読解問題の中で疑似体験させるような出題内容であり、英語4技能のうちの「読む」だけではなく、「書く（＝エッセイ）」「話す（＝プレゼンテーション）」を意識したものと言えるだろう。そこで、問題を解く際には、通常の「長文を読む」意識だけではなく、自分自身がエッセイの書き手になったつもりで、指導者からのコメントを参考にして推敲する、または、多様な意見を参考にして自分の立場を決める、という意識で取り組むと効果的である。